

遊びリパークリノア	回答数	32	家族向け		
質問項目	回答			ご意見・ご質問	対応・改善点
	はい	いいえ	どちらとも言えない		
子どもたちの活動スペースが十分に確保されているか	32	0	0	・広くてとても良い	子どもたちにとっての居場所としてだけでなく、活動に必要なスペースとして有効活用できるよう、広さのみならず遊具の設置方法など「遊び空間づくり」についても注力してまいります。
職員の配置数は適切であるか	27	0	5	・スタッフさんの配置数は知らないのですが分らないが、たぶん足りていると思う ・沢山の方がいらして、とても嬉しいです	通常配置に加えて加配職員を配置しているほか、医療ケアやハビリテーションの観点から必要な専門職人員の補填を実施しています。
事務所の設備などはスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	0	0	・辻堂にもシャワー室があったらいいなと思う	今後、ご家族のニーズに合わせて環境的工夫ができる部分においては適宜見直しを行なっていきます。
子どもの保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	0	3	・よく見て下さっているとします	個別支援計画のご家族への説明に合わせて、突発的なニーズの把握を今後も継続してまいります。
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	31	0	1	・色々な事をして下さっているとします ・色々な体験が出来て成長の上でとても良いと思います ・風揚げはさせたことなかったのですごく嬉しかったです	年間・月間・週間計画を作成して、固定化させないよう工夫してまいります。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	0	12	・今はコロナ禍のためなかなか難しいと思う ・わからない ・これについては、リノアさんならではの凄いメリットだと思っております	2月に海浜公園では学童クラブの児童との交流イベントを行いました。コロナ禍の感染リスクへの対応で実施できなかった交流も、来年度より本格的に再稼働していきます。
支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明がなされたか	29	0	3		個別支援計画の作成に際し、面談の機会を出来るだけ多く作ります。また、請求書発行については紙媒体での共有のほか、ご家族にわかりやすい報告を行えるように工夫する必要があると考えています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1	1	・ライン等で子どもの様子を送って下さり、実際に子どもが過ごしている様子が見れるのでとても良いです	コミュニケーションツールの導入を図りましたが試行錯誤しております。（ご家族のみなさまのご協力には本当にありがとうございます。）LINEの他、活用できるツールを今後も検討してまいります。
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	29	0	3		送迎時や面談など、ご家族とお話しできる時間をこれからも大切にしていきたいです。
父母の会の活動の支援や保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	23	0	8	・もっと気軽に沢山の保護者の方がKokuaの会に参加できるようになったら良いと思う ・仕事をしている保護者も考慮して土日の保護者会（保護者間の交流の場）等を希望	Koku'aの会は利用児童のご家族により構成された家族会です。リノア内でも周知を図り、ご家族同士でのコミュニケーションの機会や困りごとの解決方法を事業所としてもバックアップさせていただきます。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	0	6	・苦情を申し立てた事がないので不明 ・苦情は全然なかったのですが、コロナの時等、適切な説明をして下さりました。 ・周りから話を聞く限りでは迅速かつ適切に対応されていると思う	苦情を全てなくすことに注力するよりも、困りごとを出来るだけ早めに察知できるように全スタッフでの情報共有を図るほか、苦情が発生した場合にはチームで解決できる土壌を形成します。
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	0	1		LINEやメール以外でも、活動の発信を検討してまいります。

定期的に会報やホームページなどで、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	0	3	・ 個々人の活動だけでなく、全体の報告もほしい（自分の子供以外の活動も知りたい）	FacebookやInstagramなどのSNS媒体での報告をメインに運用していますが、タウンニュースや広報誌の発行も今後検討していきます。
個人情報に十分注意しているか	29	0	3		今後も十分に注意して取り扱います。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	13	・ マニュアルとしてはいただいていないような気がします ・ 防犯マニュアルは聞いた事がない気がします	一部（虐待や防災、身体拘束）の運営についてはご説明しておりますが、各種委員会の活動報告についても見える化を図る必要性を感じています。来年度、改善していきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	13	・ 日が浅いのでわかりません ・ 地震（による津波）に対しての訓練は行われているのか？ ちょっと心配です ・ 以前は行われていましたが、最近はお話を聞いていないのでわかりません。	海が近い立地を考えて高台への避難経路を確認しました。また、公民館への協力打診を今年も継続していきます。
子どもは通所を楽しみにしているか	30	0	2	・ 楽しんでいると思います！ ・ とても楽しいみたいです。	これからも子どもたちのワクワクする体験につながる遊び場づくりを継続していきます。
事業所の支援に満足しているか	29		2	・ 四季折々のイベントを楽しんでいて、飾りつけでも楽しめます。 ・ とても満足です。 ・ いつも大変お世話になっています。ありがとうございます。 ・ いつも帰りの送迎の車で、楽しく満足した顔で帰ってくる息子の顔を見て、良い支援をして頂けていることに満足しています。いつもありがとうございます！	子どもたちの活動を支援するスタッフのみならず、ご家族や地域の方と事業所単体に留まらない活動運営を今年度以上に膨らませていきたいと考えています。

遊びリパークリノア				スタッフ向け
質問項目	はい	いいえ	意見	改善点・コメント
利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		座位保持や車椅子が圧迫するスペースがある	遊具の保管場所や座位保持椅子、車椅子などの保管場所について改善点がある。 物品整理を行いながら有効スペースが活用できるように環境整備が必要である。
職員の配置数は適切であるか	✓		配置は適切だが、知識不足がある	配置職員についての制度周知を図る必要がある。多単位での運営となるため、適切な配置確保が多くのスタッフが確認できるようにする。
事務所の設備について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか	✓		車椅子が移動できるスペースがあるが、クッションフロアに隙間があることが懸念材料	全スペースのクッションフロア化を図っているが、隙間が空いている部分は環境整備が必要である。
業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		✓	見直しははかかれているが、全スタッフが参画できていないこともある	ヒヤリハットなどの危機管理や業務改善を実施しているが、各種委員会による多方面での見直しや目標設定は脆弱であるため、組織した委員会における改善目標を設定し、課題を細分化した上で職員に共有していく必要がある。
保護者など向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	✓		必要に応じて実施している。	おやつや活動に関するアンケートを実施しているが、頻度の調整や実施時期の設定が必要である。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			実施している。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		制度の更新に際し必要性を感じる。	複雑化する制度の中で、多くのスタッフの知識ベースを上げる必要がある。 知識周知の結果、改めて事業所内で解決できない点においては第三者委員会の検討を行う必要がある。
アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		個別支援計画は計画的に進められるべきである。	各単位において家族との密な連携体制を継続し、チーム内での情報共有を円滑に進める。
子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		✓	初期評価に必要となる項目だったスクリーニング評価を実施している。	初期のスクリーニングに合わせて、利用者の個々の状況を理解するための専門職によるアセスメントバッテリーの準備を進めている。来年度の本運用を予定している。

活動プログラムの立案をチームで行なっているか	✓		遊び検討チームが実施している。	肢体不自由、重症心身障害、医療ケア、知的発達障害など多岐にわたる特性に応じた活動プログラムの立案を分化的に実施する必要がある。特性に応じた専門職チームで検討し、子どもたちの遊び・体験を工夫する必要がある。
活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	✓		季節の活動を取り入れている。	年間、月間、週間の活動スケジュールを作成して、計画的に進める。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓		休業日には長い時間を活用して計画している。	長期休暇には長時間の支援が可能のため外出の機会を多く持っている状況であるが、平日にも社会体験の場を設けるための担当者や役割分担を明確化する。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		時々で更新が必要なときに検討している。	今年度より専門職種による個別介入の検討を行なっている。来年度も継続していく必要がある。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		午前と午後に共有の機会を設けている。	事前の情報共有やチーム間での活動検討を行なっているが、固定メンバーになることが多いため、活動の創意工夫が全スタッフからのヒントをもとに作成できるように輪番制を検討したい。
日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		時間がかかる作業の短縮化を図りたい。	記録物の整理を進める必要がある。また、個別支援計画や業務に必要な書類のデジタル化を進める。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			児童発達支援管理責任者の役割の明確化を図る。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		✓	ガイドラインを読んだが知識の補完に自信がないことがないという非常勤スタッフからの声が聞かれる。	新入職員への新人研修時に実施しているガイドライン周知だが、今一度全スタッフが理解できているかの確認を行う。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しいものが参画している。	✓			担当チーム制により、個別に対応するスタッフが参画している。情報共有とともに、課題解決にはチーム間を超えた編成を検討する必要がある。
医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	✓		指示書、手順書の発行協力打診を看護師や、3号研修・1号研修受講スタッフが実施している。	連携している。必要に応じて地域の医療チームを紹介している。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		事前に情報収集している。	支援計画の共有と、利用開始前の事業所へ連携に専門チーム（児童発達支援管理責任者）を発足させ、情報伝達に努める。

学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合がございます、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか	✓		必要な情報を申し送っている。	支援計画の共有と、利用開始前の事業所へ連携に専門チーム（児童発達支援管理責任者）を発足させ、情報伝達に努める。
児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		専門職とのつながり機会がある。	お互いの事業所に専門職が行き来したり、全ての職員に他事業所への研修や受け入れ体制を整備している。今後、地域を巻き込んだ課題解決のためのチーム編成も視野に入れることを取り入れていきたい（防災対策や防犯体制など）。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		✓	コロナの影響により実施できていない状況にあった。	コロナによる感染予防のため、交流の機会はほぼないに等しい状況にあったが、2月より少しずつ交流の機会を作っている。地域の学童保育の児童との交流イベントを行う機会があり、交流機会を大切にしていきたい。
（地域自立支援）協議会などへ積極的に参加しているか	✓		管理者、担当スタッフが対応している。	自治会や医療ケア事業へ参加している。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		日々の送迎時などにお話を聞くようにしている。	個別支援計画に係る必要な情報を家族と共有するほか、ご家族の抱える課題解決のために制度の活用や、時にはご家族同士で課題に向かう機会を提供している。ここでご家族が孤立的に向き合うのではなく、家族のつながりの機会をこれからも作ってきたい。
保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	✓		ペアレントトレーニングという視点においては専門的知識が不足していると感じることもある。	家族との協力関係を気づくために必要な手段を、その都度臨機応変に対応している。ペアレントトレーニングという視点を専門的に持ち合わせているという脆弱と感ずるため、県で主催されている研修会へ参加する必要がある。
運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明をおこなっているか	✓			ご家族から寄せられる疑問点には迅速に対応するよう心がけているが、今後も明瞭化を図りながら運営していく。
保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		保護者から寄せられる話を受けて必要なチームに共有している。	専門職や信頼関係が気づけている個々のスタッフから取り上げられる問題をチームで検討する機会を作っている。
父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	✓		Kokuaの会がある。	事業所後援のご家族の会（Kokua）が発足している。お互いの強力関係をこれからも維持していきたい。

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			できる限り迅速に対応している。 今後もご意見を真摯に受け止めていきたい。
定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		会報は発出していないが都度イベント情報を発信している。	会報を発出する機会はイベントごとにリーフレットを作成して地域に配布している。 活動予定の共有は都度ご家族にお送りしている。
個人情報に十分注意しているか	✓			注意して取り扱っている。
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			スタッフを介したコミュニケーションの機会を超え、ご家族同士の機会を作っている。（日曜日事業所開放など）
事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営をおこなっているか	✓		コロナ禍で難しかったことも少しずつできるようになってきた。	地域（商店街）にある事業所と協業しながらイベント運営を行なっている（春祭り、マルシェなどを実施している）。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			委員会を整備して、必要なマニュアル整備を進めている。 防犯対策についてのマニュアルも地域の社会情勢を合わせながら情報発信に努めたい。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	✓		状況に応じた訓練が必要。	実施している。 食料や必要備品の整備や管理を委員会で検討している。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	✓			虐待防止委員会では虐待と思われる案件を早期（3日以内）に共有し、スタッフ教育を行なっている。
どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		身体拘束に関する記録は随所に記載されている。	身体拘束に関する同意書と個別支援計画への記載を実施しているが、撤廃に向けた計画作成を同時に進めている。
食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			アレルギーはご家族から聴取して、原因となる食物、環境を排除するようにしている。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			未然の事故防止につながるように、整備を進め、全スタッフが共有できるように整備している。

遊びりパークリノアおおば/play works リノアおおば 家族向け				回答数	18
質問項目	回答			ご意見・ご質問	対応・改善点
	はい	いいえ	どちらとも言えない		
子どもたちの活動スペースが十分に確保されているか	16	1	1	・祝祭日や学校の長期休暇は、放課後デイと生活介護が同時間の利用となるのでスペースが狭いと感じています。 ・特にない	地域に開かれたオープンスペースを活用するとともに法人内の多事業書が持つ遊具や活動に適した場所の活用を検討していきたい。
職員の配置数は適切であるか	18	0	0		通常配置に加えて加配職員を配置しているほか、医療ケアやハビリーテーションの観点から必要な専門職人員の補填を実施しています。
事務所の設備などはスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	4	・バリアフリーの配慮はされていると思いますが、手すりがあったらいいと感じる場所があります。	入浴介助に必要なスペースに段差がある。利用者や介助者がより快適に過ごすための工夫が必要である。専門的視点から環境整備を進めるとともに、利用者の方々の身体機能の向上も図っていきたい。
子どもの保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	0	0		ニーズ把握は都度実施し個別支援計画に反映させている。
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	0	0	・思いやりと愛が詰まったアイデアにいつも感心しています。ありがとうございます！	季節ごとのプログラムの他、スタッフの特性や利用者個別に得意とすることを活動に取り入れている。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	0	5	・音楽バンド等クラブ活動のようなことはどうか？ ・交流する機会があるのでしょうか？	コロナ禍で難しかった交流イベントも少しずつ復活している。音楽イベントや地域の子どもたちに開かれた公園の運営に参画している。
支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明がなされたか	18	0	0	・新しいサービスの日中一時支援については、どのような活動となるのかがあまりまだわかっていないところです。放課後デイの活動の中に入るようですが、具体的にどんなふうに過ごすのかイメージがつかないです。	支援内容の共有を個別支援計画やモニタリング作成時以外にも意見交換の機会を設けている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	2	・とてもよく理解してもらえています。 ・写真や動画をいつも楽しく拝見しています。デイロボにもコメントをいただき、送迎の際にも直接お話が聞けるので安心していきます。 ・私の方から伝えられていなくてすみません。	送迎時には出来るだけコミュニケーションの機会を作り、ご家族の要望やご本人が課題と考えることに向き合うように心がけている。 今後、成長に合わせた課題（介助量増大）に向けた下準備を進めていきたい。
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	0	0	・面談時期でない時にもすぐに相談にのってもらえて、とても助かっています。	定期的な面談の機会のほか、保護者同士の相談の機会も作ってきたい。
父母の会の活動の支援や保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	9		辻堂事業所で発足しているKokuaの会を活用してご家族同士の課題解決の機会を設けたい。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	0	1		できる限り迅速に対応するよう心がけている。 状況に応じて担当スタッフおよび事業所内での課題共有を行う。
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0		情報伝達ツールとしてLINEのシステムを活用しているが、見直しが必要と考える場合は、コミュニケーションツールの導入を図っていきたい。

定期的に会報やホームページなどで、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	5	・自己評価を子供や保護者に発信する意図がわかりませんでした。	会報を発出することはなく、自己評価についても開示されていることをご存知ない家族に対して、情報共有を図る。
個人情報に十分注意しているか	18	0	0		今後も留意しながら運営を進めていく。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	9	0	・これからもっと整うと思われる ・すみません、防犯マニュアルを知らないかもしれません	各種マニュアルのスタッフおよびご家族への共有を進めていく。 委員会による検討事項も全スタッフに共有する。
非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	8		地域特性に合わせた災害訓練を実施する。 非常事態に備えたBCP整備を同時に進める。
子どもは通所を楽しみにしているか	16	0	2	・楽しみすぎて毎週月曜日が待ち遠しい様子です。	楽しいことが成長につながっていることが実感できるような遊びの工夫をこれからも続けていきたい。
事業所の支援に満足しているか	18	0	0	こちらの要望以上の支援を提案・実践していただいていると思っています。また、困った時にはすぐに相談に乗ってもらえるので救われることがとても多いです。 ・大変満足している	ご家族やご本人の希望する支援と、地域に開かれた包括的な支援ネットワークの構築に寄与していきたい。

遊びリパークリノアおおば・play worksリノアおおば				スタッフ向け
質問項目	はい	いいえ	意見	改善点・コメント
利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	・公園のスペースも含めると普段は良いかと思う。祝日等生活介護と放課後デイが被る場合はストレッチャーなどの利用者さんと動きのある利用者さんが混在しており、手狭に感じることもある。	適切ではあるが、個々の支援に必要な環境については、事業所を超えて、地域のスペース屋外、法人の他事業所の活用を進める。
職員の配置数は適切であるか	3	0	適正スタッフ数は確保されている。	必要スタッフ以外にも加配スタッフ（専門職）を配置している。また、医療ケアニーズ、リハビリテーションニーズに合わせて、加配の他に専門職スタッフを配置している。
事務所の設備について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか	3	0	・浴室に入る際の段差は改善する必要がある ・入浴を伴う動作経路については課題がある	現在の利用児童に適したスペースではあるが、成長に合わせた環境整備が必要となる可能性を加味して検討していきたい。
業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	0	都度見直しが必要	業務の見直しの機会を月毎に定めて管理者層以外の意見も参考に改善の機会を設けている。
保護者など向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	統合解釈に繋がる共通したツールは初期評価で実施し、個別的視点に合わせた専門職によるアセスメントを実施している。	意見同様である。 専門職のみの理解にとどまらない共通アセスメントツールは現在開発中である。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	実施している。	年度末に実施し、アップロードしている。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	・今後検討が必要	複雑化する制度の中で、必要に応じて第三者機関による評価を検討していきたい。
アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	年齢層が小学校低学年によっているため、これからはスペースの有効活用や環境整備が必要になると考えられる。	児童の年齢、成長に合わせた活動プログラムの立案、環境整備が課題となる。
子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	専門的視点のアセスメント以外の視点も必要だと感じる	標準化されたアセスメントツールを活用するとともに、職種間を超えた理解を図るための言語化を進める必要がある。

活動プログラムの立案をチームで行なっているか	3	0	実施している。	チーム全員でその日に参加する利用者や季節に応じたプログラムを実施している。 定例化できる支援内容のプログラム化を進めていきたい。
活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	0	季節を意識している。	年間スケジュールをもとに準備期間を設けた月間、週間スケジュールを検討したい。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	0	休日は長い時間を活用している。	長時間の支援が可能な祝祭日や、長期休暇を活用したプログラムの立案を前もって準備を進める。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	姿勢評価など個別的に活動に参加しやすいはびりテーションプログラムや環境調整を進めている。	先の通り、専門職の知識を活用した個別アプローチとともに集団活動への参加形態を個別支援計画をもとに進めている。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	実施している。	時間帯の違う勤務形態のスタッフへの情報共有と活動の目的や趣旨の説明を必要に合わせて実施する必要がある。
日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	書類の所在をはっきりさせておく	必要書類、記録物は用意されているが、メインスタッフへの記録の所在を明確化する。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0		定期的なモニタリングのほか、要望に合わせて聴取の時間を設けている。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	0		ガイドラインの共有は全スタッフに周知を図っているが、新入職員にも必ず説明するようにしている。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しいものが参画している。	3	0		必要時に合わせて担当者会議に担当スタッフが出向くようにしている。 会議後に課題共有があったことについては申し送りの機会を設けている。
医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	3	0		連携しながら、指示書と手順書の確認をご家族とも進めている。 また、介護職による喀痰吸引の研修も併せて実施している。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0		多事業所の連携に必要なスタッフが参加して、事前の情報収集に努めている。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合がございます、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか	3	0		現在に至るまで障害福祉サービスに繋がる案件はないが、生活介護事業所を併設している当事業所の長所を活かしながら、これからの過ごし方を検討し、必要な情報を伝達していきたい。

児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0		適切な専門職の参加を実施している。 法人内では新人研修や専門職のチームを形成し、他事業所での課題解決に向けた取り組み共有を行なっている。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの子どもたちが遊びにきている ・スタッフの子供たちが遊びに来たり、構内に設置した公園に遊びに来た子供たちと触れ合う機会がある。 ・職員の子供や、公園に遊びに来た子供と関わる機会がある 	コロナの影響で実施できなかった交流イベントも徐々に復活してきている。 屋外に設置されている公園を活用しながら地域に開かれた事業所運営を進める。
(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	3	0		市の医療ケア会議、放課後等デイサービス連絡協議会へは担当者が参加し、議題共有を図っている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	送迎、学校とのコミュニケーション機会を大切にしている。	全スタッフへの個別支援計画の理解を促し、課題に向き合わせる人数を増やす。 個別療育プログラム振り返りの機会を毎日設ける。
保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	3	0	・リノアでの情報共有や助言は行なっている	スタッフの主観的評価とならないよう、相談支援事業所や学校との連携により客観的な支援体制を意識しながらご家族へのフィードバックを実施する。
運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明をおこなっているか	3	0	必要な情報は説明を行なっている。	家族への十分な説明を行うために、不十分などところがないかを見直す必要がある。
保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0		成長に合わせた悩み事の共有を同世代にて行う。 また、先々を見据えた課題抽出を行うために、辻堂事業所で組織されているKokuaの会を活用したコミュニケーションの機会があることの周知を行う。
父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	3	0		イベントには積極的に参加して下さるご家族に対して、必要な情報と家族間での情報交換の機会をこれからも大切にしていきたい。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	早期に対応するよう努めたい。	できる限り迅速に対応している。 今後ともご意見を真摯に受け止めていきたい。
定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	SNSを利用している。	季節でのイベントを実施する場合はご家族向けに情報開示を行なっている。(リーフレット作成) 会報はSNSを活用した報告を行なっている。
個人情報に十分注意しているか	3	0	注意して取り扱っている。	必要時には必要機関への開示は本人と家族の同意をいただいている。

障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0		家族との連携と同時に関連機関との情報伝達には、情報統制を図りながら進めていく。
事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営をおこなっているか	3	0	地域資源を活用している。	事業所近くにある畑や田んぼ、公園を活用した交流スペースを設けて、つながりある事業所運営を継続する。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	委員会による見直しが必要	前年度より設けている委員会により、現在のマニュアルの見直しを実施している。 社会情勢に併せてマニュアルの更新も必要なため、他事業所と連携しながら見直しを進める。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	3	0		事業所の立地条件では土砂災害、河川増水による影響が懸念されるため、想定されるリスクに対する訓練を進める。 また、災害発生後のBCP作成・見直しも同時に進行する。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	3	0	客観的な視点が大切だと考える。	法人他事業所での課題を共有するとともに、客観的な視点で虐待を未然に防ぐ方法を検討している。 現在、他事業所からのヘルプがあった場合には、スタッフへの虐待案件と考えられる事象がなかったか意見を求めている。
どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	安全なため座位保持や活動上必要な拘束も見直す必要がある。	本人の能力を評価しながら、出来得る拘束解除を適宜評価しながら、撤廃に努めたい。
食物アレルギーのある子供について、意思の指示書に基づく対応がされているか	3	0		アレルギー特性に合わせた活動展開を実施している。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0		未然の事故防止につながるように、整備を進め、全スタッフが共有できるように整備している。

遊びリパーリノア秦野	回答数	5		家族向け	
質問項目	回答			ご意見・ご質問	対応・改善点
	はい	いいえ	どちらとも言えない		
子どもたちの活動スペースが十分に確保されているか	5	0	0		利用児童数の増加と成長に合わせて、座位保持椅子やバギーなどの機具が増え、活動スペースを圧迫することがありますが、活動するスペースは大きく取り、十分なスペースを確保しています。
職員の配置数は適切であるか	4	0	1	毎回、利用人数と職員配置数を教えてくれる訳では無いので、適切かどうか、どう判断したら良いかわかりません。	配置職員は、基準となる児童発達支援管理責任者、児童指導員、看護師、理学療法士、作業療法士を配置しております。また、支援の状況に合わせて療法士や看護師を追加で配置しております。
事務所の設備などはスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0		バリアフリーの環境を整えるだけでなく、車椅子駆動、歩行機での移動の練習のためにバリアを設ける工夫も必要かもしれません。
子どもの保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0		出来るだけ対面での面談の機会を設け、支援計画を話し合ったり、ご家族の皆様には送迎時に様々なお話がいただける環境があります。
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	1		季節ごと、かつ子どもたちや家族がやりたいと思っていることの見聞の吸い上げがこれからも必要になると思います。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	2		コロナ感染による謝絶によりなかなか時間が作れませんが、少しずつ地域に開かれた事業所展開を図っていく予定です。
支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明がなされたか	5	0	0		支援計画の共有、都度ご家族の困りごとに向き合える関係性を継続していきたいと考えています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0		専門的な見地から、必要な支援や成長に合わせて、卒後の環境を見据えた目標設定を、ご家族や関係機関から得た情報を内外問わず共有していきたいと考えています。
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	0	1		家庭での困りごとについて共有し、関係機関と繋いだり、できる範囲で協力する体制を整えるとともに、利用できる制度の活用も検討していきます。
父母の会の活動の支援や保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	1	父母の会が実施されていることを知らない	ご家族からの情報交換ができるように、事業所としても参加していきたいと考えています。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	0	3	苦情を言ったことが無いので	できる限り迅速に初動を取ろうと考え行動しております。対応についての説明を徹底していきます。
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	1	1	事業所の閉鎖が口頭だけというのは、配慮されているとはいえません。	管理者と事業所のIDを交換し、できる範囲で迅速に対応したいと考えています。
定期的に会報やホームページなどで、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	2	会報があることを知らない	定期的な会報は発行していませんが、SNSのみならず、ホームページにも随時更新した内容を記載できるように進めていきたいと思っています。
個人情報に十分注意しているか	5	0	0		今後も情報伝達に配慮して進めていきたいと思っています。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	0	2	防犯マニュアルについて説明されたかな？私が忘れてるだけかもしれませんが...	感染、災害、安全、虐待は職員研修や外部勉強会に参加しております。そのような取り組みをご家族への共有方法を検討していきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0		災害場面ごとの対応方法について、今一度職員間で共有し、ご家族へも対応方法について共有します。

子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	1		これからも子どもたちの「やりたい!」を引き出せる支援を継続していきます。
事業所の支援に満足しているか	5	0	0	子どもに対する支援には満足しています。	子どもたちやスタッフの提案する活動もありますが、ご家族からもチャレンジしたいことをお聞かせいただきたいと考えています。

遊びリパーリノア秦野	スタッフ向け			
質問項目	はい	いいえ	意見	改善点・コメント
利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			十分な活動スペースが確保されているが、必要物品の収納を考え安全な環境整備は検討する必要があります。必要物品の取捨選択を行い、有効スペースを大きく取る工夫が必要です。
職員の配置数は適切であるか	✓			必要最低限の人員確保はできており、これからも活動を考える上で必要な人の確保をしていきたいと考えている。
事務所の設備について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか		✓	フロアの中はバリアフリーであり、エレベーターの入り口で、子供達の手足がぶつかりそうで危ないと感じることがあった。	2階という環境につき、エレベーターを設置し車椅子や大型のバギーでも昇降することが可能な環境で整備している。入り口付近での接触による怪我予防に緩衝材の設置を進める必要がある。また、非常事態の移動連携については災害発生状況や個々の児童に合わせた手段を繰り返し訓練を実施している。
業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		✓	現在新人研修制度を専門職に限らず、全職員を対象とした仕組みづくりを進めている。日々の業務の中で児童の情報の共有は適宜されているが、目標と振り返りの会議がほとんどされていない。また発言するスタッフに偏りがある。	研修制度導入により、他職種、複数人での活動や個別支援についての見直し作業を進めています。事業所を超えたスタッフの目を入れて、事業所の長所を活用しながら見直しを図っていきます。
保護者など向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	✓			イベント実施時のアンケートをとるなど、年間に数回のアンケート調査を行い振り返りの時間を作ることも検討していきます。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			実施しています。実施時期は年度末にて継続します。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		外部評価の実施については知りません。連絡会等他事業所とお会いした時にはリノアについての客観的な意見を聞いています。	外部評価を入れることを今後も検討していきます。

アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			利用児童の成長に合わせて適切な支援につながるよう、専門の見地から助言ができたり、関連事業所の意見を取り入れるようにしています。
子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		✓	セラピスト向けの評価表、作成途中ですみません。あと少しなので、今年度中には終わらせます。	セラピストのみならず、他職種で理解し合えるアセスメントツールの準備を検討していきます。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			必ず日常から支援をしている職員を含めて検討しています。
活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	✓			季節や行事などの起案を子どもたちや家族を含めて行っています。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓		平日にはなかなか出来ない事も療育目標には入れていて、休日や長期休暇に積極的に実施する様にしている。	長時間で実施できる支援を実施しています。外出や社会体験ができる時間の有効的活用を今後も継続していきます。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		個別活動は保護者からニーズがある場合に実施しているが、評価も含むため全員に実施する必要性を感じる。	ご家族よりニーズがあった場合には、個別的介入も実施しています。介入後のフィードバックも適切に行っていく必要があると認識しています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			開始前の打ち合わせでは、活動のことはもちろん、子どもたちの参加形態を考え工夫できるように打ち合わせを行なっています。
日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			情報が適切に伝わるよう丁寧かつ端的にまとめられた情報伝達を心がけています。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		半年毎だけでなく、成長等で大きく状態が変化した時には見直しをしている。	成長に合わせた計画の見直しが必要だと考えています。療育項目は子どもたちに直接毎日確認する習慣があります。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	✓			ガイドラインのみならず、子どもたちやご家族から発信される活動にも重きを置いています。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しいものが参画している。	✓			必ず児童発達支援管理責任者及び、相応の者が参加するように調整しています。
医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	✓			必ずご家族に指示書を提供していただくようにしています。また、それに基づき手順書を作成し、ご家族（必要に合わせて主治医）に確認してもらっています。また、災害時に備え介護職による喀痰吸引、胃ろう注入作業ができるよう支援体制を設定しています。

就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			保育所や幼稚園からの卒業生が利用しておりませんが、就学・就園している事業所には、スタッフが訪問し、必要時に連絡を取り合える環境を築いています。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合がございます、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか	✓			放課後デイ利用時の様子などを文面で伝えるだけでなく、実際にその後フォローアップとして事業所に伺うなど口頭でも様子が伝わるようにしています。
児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			専門的機関との連携は適切な職員が情報交換できるように連携しています。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		✓	コロナの影響で実施できていない。職員の子供とは関わりが持てている。	少しずつ感染状況が落ち着いてきているため、本人やご家族の同意を得た上で今後は交流イベントなどの検討も積極的に進めていきたいと考えています。
(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	✓			委員会の一人として責任者が参加しています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		専門職種による情報共有に合わせて研修体制を組み立てている	SNSや日々の活動場面の写真を送るなど、できるだけ様子が伝わるように情報共有を行なっています。
保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	✓			ご家族と一緒に考える機会が多いですが、ペアレントトレーニングという観点は今後他事業所で連携をとりながら進めていきたいと考えています。
運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明をおこなっているか	✓			契約時に必ず実施しています。契約更新、新たな文言の追加の際には適宜修正文章を作成しご家族への発信を実施しています。
保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			必要時に合わせて放課後等デイサービスの枠に囚われず、協力できる範囲で支援を提供できる準備をしています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	✓			ご家族を誘って、イベント行いましたが、もう少し頻度を上げて良いと考えています。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			真摯に対応することを心がけるとともに、必要な情報はスタッフで共有し改善点を導き出すようにしています。
定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		SNSを活用している。	会報は出していませんが、SNSを通じて活動を報告しています。

個人情報に十分注意しているか	✓			今後も十分に配慮した支援体制を継続していきます。
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			本人やご家族からの発信は都度受け取れるような体制にしております。 今後も適切な情報が届く工夫を継続していきます。
事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営をおこなっているか		✓	コロナで実施できていない。	1階にある小規模多機能施設とはコロナの感染状況を加味しながら一緒に活動をする機会を設けています。外に散歩に行く時に地域住民の方とは積極的に挨拶を交わして交流の機会を多く持てる工夫を行なっています。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			緊急対応時のマニュアルは作成しておりますが、全ての委員会に付帯するマニュアルの共有はできていないので、契約や適宜タイミングに合わせて報告できるように体制整備を行なっています。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	✓			月1回の避難訓練を実施しています。内容は災害物品の確認、災害物品の使用練習、避難練習等を行なっています。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	✓			虐待防止委員会にて年1回の全体研修を実施しています。
どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			個別支援計画会議の際に身体拘束の必要性についてスタッフで協議し、面談時に保護者に説明し了解を得ています。その内容は個別支援計画書にも記載しています。また、日々の業務日報にも身体拘束の有無を記録しています。
食物アレルギーのある子供について、意思の指示書に基づく対応がされているか	✓			アレルギー対応の書式を作成し、フロア内で常時確認できるように設置しています。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハットが起きた時には管理者と保護者にすぐに連絡しています。事例は当日に記載し、ミーティングにて全員で情報を共有しています。

遊びリパーリノアたまプラ	回答数	29		家族向け	
質問項目	回答			ご意見・ご質問	対応・改善点
	はい	いいえ	どちらとも言えない		
子どもたちの活動スペースが十分に確保されているか	27	0	2	遊具が沢山あって楽しい。広いお部屋と気持ちの良いウッドデッキ、スパイダーやトランポリン、ブランコ等の遊具がたくさんで最高です！！	児童のスペシャルニーズに応じて器具や遊具を増やしています。活動スペースを圧迫することもあります。十分なスペースを確保しながら、活動の質を高めることを目的に環境設定に取り組んでいます。
職員の配置数は適切であるか	27	0	2	手厚くて安心。皆さん、明るく優しいスタッフさんばかりです。娘も大好きです。	配置職員は、基準となる児童発達支援管理責任者、児童指導員、看護師、理学療法士を配置しております。また、状況に合わせて児童指導員、療法士、看護師を追加で配置しております。
事務所の設備などはスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	0	0		バリアフリーの環境を整えるだけでなく、合理的配慮の視点や、自分で援助要請ができることも視野に入れながら、環境設定に取り組んでいます。
子どもの保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	0	0		保護者との面談の機会を設け、ニーズを把握し、専門職の視点を通じて、利用児童の成長発達に繋がる支援の計画作成に取り組んでいます。
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	0	0	いつも楽しいプログラムをありがとうございます。	ご家庭等ではできない体験、遊びを活動プログラムに取り入れ、遊びを通じて楽しみながら、利用児童の成長発達を促せるように取り組んでいます。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	7	14	コロナ禍で難しいのだと思います	コロナやインフルエンザ等の感染症の状況に配慮しながら、少しずつ地域に開かれた事業所展開を目指しています。
支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明がなされたか	28	0	1	おやつについて、何をどのくらいの量食べたのか教えて頂けると助かります。	都度、保護者の知りたい情報の把握、提供に努め、お互いに話しやすい関係性づくりを継続していきたいと考えています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	0	0	LINEの活用がありがたい	保護者や関係機関から得た情報と、専門職の視点を統合し、成長発達に合わせ支援の方法をご家族と一緒に検討していけるように取り組んでいきます。
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	26	0	3	オンラインの面談がありがたい	保護者の家庭での困りごとを話しやすい関係づくりを目指し、できる支援の検討、関係機関との連携を積極的に取り組んでいきたいと考えています。
父母の会の活動の支援や保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	0	22	7	保護者同士の交流の場も後々にあると楽しいですね、ただコロナ禍なので今は不可能かと思えます。今後、保護者交流会等の開催があれば、参加してみたいです。	コロナやインフルエンザ等の感染状況に配慮しながら、楽しみながらご家族同士やスタッフと交流できるイベントを計画していきたいと考えています。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知、説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	15	苦情といいますかお伝えすべき事をお伝えした時、責任者の方がすぐ対応してくださいました。苦情は無いですが、他の保護者さんから何かご意見があった際は共有出来るものはしてもらえたら参考になりますね。	できる限り迅速に初動を取ろうと考えて行動しております。苦情だけでなく、気になったことや、支援の希望等も気軽に相談できる関係性づくりを継続していきたいと考えています。
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	0	0		管理者と事業所の連絡先をお伝えし、できる範囲で迅速に対応したいと考えています。
定期的に会報やホームページなどで、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	0	6	会報ではなくLINEで、写真付きで毎回詳しくご連絡いただき、有難く思います。	定期的な会報は発行していませんが、SNSを中心に日々の活動を紹介しています。今後、ホームページ等にも法人全体の情報を随時更新していけるように進めていきたいと思っています。
個人情報に十分注意しているか	28	0	1		必要な対策、配慮を今後も継続していきます。

緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	0	7		感染、災害、安全、虐待は法人内の職員研修や外部勉強会に参加しております。そのような取り組みをご家族への共有方法を検討していきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	3	非常食の管理が丁寧	災害時の対応について、今後も定期的に確認しています。
子どもは通所を楽しみにしているか	27	0	2	リノアが大好きすぎる娘です。家庭や学校以外に、大好きな居場所ができた事、心から嬉しく有難く思っております。	子どもたちの「やってみたい、楽しい」という気持ちを引き出せるような活動づくりを継続していきます。
事業所の支援に満足しているか	27	0	2		支援や活動の内容は、常にアイデアを練りながら発展させていきたいと思っております。

質問項目	スタッフ向け			ご意見・ご質問	対応・改善点
	回答				
	はい	いいえ	どちらとも言えない		
利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	0	0	今後、2単位化や、児発・放デイで活動内容や質を変えたりなどの展開を見据えて、活動スペースを広げたい。	隣の部屋を新たに借りることで活動スペースを拡大します。
職員の配置数は適切であるか	1	1	0	2023.4月以降スタッフが足りないことが明確。他事業所からのサポートは必須。新規スタッフを増やしていきたい（現状パートのみで探しているが、2024年度2単位化等の先を見据えると常勤も検討しても良いかもしれない）。	新規スタッフの雇用、新規スタッフへの指導教育を強化していきます。
事務所の設備について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか	1	0	1	駐車場スペースの凹凸埋める作業を早めに取り組む	駐車スペースの改善に取り組みます。。その他にも、利用児童にとって適切な環境整備ができていますか検討します。
業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	0	1	全体での共有、振り返りの機会が少ない	週1回はスタッフで共有する時間を設けます。
保護者など向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	0	0	2	ご家族や子どもたちの意見やニーズは意識して取り入れている。評価表等を使用したものは今回の自己評価以外に実施していない	定期的なアンケートに限らず、常に保護者のニーズを把握する姿勢を持って運営に取り組みます。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	0	0		これまで同様に公開します。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	0		外部評価の実施方法について検討します。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	0	1	法人内では研修があり、参加べきところに参加している。事業所内での研修会の計画が明確になっていないため、次年度、年間スケジュールを立て実施していく。	法人内研修だけでなく、外部研修への参加や、事業所内研修の実施に取り組んでいきます。
アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	0	0	支援計画作成について常勤スタッフを中心に話し合い、共有をしながら進めている。	これまで同様にニーズの把握を丁寧に行い、スタッフ全体で共有しながら支援計画作成を進めます。
子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	2	0		利用児童に適したツールの検討をしていきます。
活動プログラムの立案をチームで行なっているか	2	0	0	非常勤スタッフの意見も、もっと入れていきたい	定期的に活動プログラムの検討会を実施します。
活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	2	0	0		定期的に活動プログラムの検討会を実施します。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	0	0		利用頻度、滞在時間に応じた活動プログラムの工夫をします。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	0	0		利用児童のコンディション、滞在時間、利用頻度、当日の利用児童数及びスタッフ数に応じて、最善の活動プログラムを検討します。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	0	0		毎朝、当日の送迎や活動内容の確認をしています。

支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有している	0	0	2	業務上、その日に時間の確保をすることが難しいため、次の日や別日に振り返り、気づいた点の共有を行っています。その日での振り返りは時間的に難しい。翌日の朝のミーティング、次回の活動決めの際に振り返りも含めて、活動計画に反映している	翌日の朝のミーティングで前日の振り返りを行い、次の活動に反映させています。
日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	0	0		日々、必要な記録を正しく残しています。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	0	0		スタッフでモニタリング内容を共有し、様々な専門職の視点、意見を支援計画の見直しに反映させています。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせず支援を行っているか	0	1	1	「総則の基本活動」の理解が曖昧なので確認する	スタッフ全体でガイドラインを見直す機会をつくります。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しいものが参画している。	2	0	0		可能な限り参加していきます。
学校との情報共有（年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	0	0		学校との連携強化に努めています。学校公開日への参加や、普段の送迎時に積極的にコミュニケーションをとることを意識し、気軽に相談しやすい関係づくりに取り組んでいます。
医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	2	0	0		常勤看護師が中心となり主治医の指示書、緊急時対応等の確認をしています。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	2	0	0		連携強化に努めています。普段から積極的にコミュニケーションをとることを意識し、気軽に相談しやすい関係づくりに取り組んでいます。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合がございます、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか	0	2	0	まだ学校を卒業した事例がないため情報提供を行ったことがありません。卒業するお子さんがまだいない。必要に応じて情報共有は実施する	まだ卒業生がいないため、そのような場面はありませんが、今後、サービス移行を行う場合は、積極的に情報提供、連携を行い、円滑な移行ができるように努めます。
児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか、について御意見がある場合は記入してください。	1	0	1	必要に応じて実施しているが、止まっているケースも多く、もっと活発にしていきたい	連携強化に努めています。コミュニケーションをとる機会をつくり、気軽に相談しやすい関係づくりに取り組んでいます。
放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	障がいの有無に関係なく参加できるイベントの実施もしたが、開催頻度をもっと増やしたい	スタッフの子供など、障害の有無に関係なく、子供たちと一緒に遊ぶ機会を作っています。今後、地域の子供たち等より多くの子どもたちと一緒に遊ぶことができる機会をつくっていきたく考えています。
(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	0	1	1	必要に応じて参加	可能な限り参加していきます。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	0	0		活動の様子を写真や動画もあわせながらお伝えしています。お互いに気軽に相談しやすい関係づくりに取り組み、積極的に情報共有をしています。
保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	0	2	0		今後、保護者のニーズに応じて取り入れていきたいと考えています。
運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明をおこなっているか	2	0	0		契約時に丁寧に説明をしています。その後も、必要に応じて説明をしています。
保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	0	1	お話を聞けるようにとは思っているが、十分だとは思わない	普段の送迎時から積極的にコミュニケーションをとることを意識し、気軽に相談しやすい関係づくりに取り組んでいます。ご相談があれば、様々な専門職の視点も活かし、できる限りのサポートをしています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	1	ご家族と一緒に参加できるイベント等を開催して、楽しい体験の中で交流できる機会をつくっていききたい	楽しみながら、ご家族同士やスタッフと交流できるイベントを開催していきたく考えています。

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	0	0		できる限り迅速に初動を取ろうと考え行動しています。苦情だけでなく、気になったことや、支援の希望等も気軽に相談できる関係性づくりをしていきたいと考えています。
定期的な会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	0	0	毎月、翌月の活動予定を発信している	SNS等を通じて日々の活動内容を公開しています。活動予定等の情報は事前にお知らせしています。
個人情報に十分注意しているか	1	0	1	注意しているが、事業所専用の携帯、パソコンが足りず、個人の物を使用せざる得ないため、そこに少しリスクを感じる	不足している機材、必要な機材を順次整備していきます。
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	0	0		管理者や事業所専用端末といつでも連絡を取れる体制を整えています
事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営をおこなっているか	0	1	1	事業所の利用の有無に関わらず、遊びに来ることや、見学、イベントの参加は歓迎している。「身近な地域」、という点ではまだ不足していると感じる	今後、地域と繋がることを意識したイベント等を企画し、開かれた事業所作りに取り組んでいきます。
緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	0	2	マニュアルの内容を忘れていたので、振り返りの研修を入れていきたい	スタッフ全体でマニュアルを再度確認する機会を作ります。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	2	0	0		定期的に訓練、災害時の対応方法の見直しを実施していきます
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	1	0	1	法人内の委員会、予定されている研修には必ず参加する	委員会を中心に、定期的に研修会りの開催参加をしています。
どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	0	0		児童にとってメリットとなる場合のみ最低限の拘束を検討します。その必要性については支援計画の作成や見直しのタイミングでスタッフ全員で検討共有を行い、保護者の確認をとります。
食物アレルギーのある子供について、意思の指示書に基づく対応がされているか	2	0	0		契約時にアレルギーの確認、対応について必ず確認を行います。その後も、新たにわかったアレルギーな等について必要に応じて対応策をとります。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	0	0		スタッフ全体でヒヤリハットの記録、振り返りを実施しています。